

記念シンポジウム

「津のたからもの 三十六歌仙扁額の魅力にせまる」

2022/10/30(日) @三重県立美術館講堂 定員：申込先着 70 名

プログラム

13：30：開場・受付開始

14：00：開会挨拶

開催にあたって：石上陽祥氏（津八幡宮 宮司）

開催趣旨説明：桐田貴史（石水博物館 学芸員）

14：15～14：45

①青山泰樹氏（津市文化財保護審議会委員）

「津八幡宮の三十六歌仙扁額—奉納の経緯について—」

14：45～15：15

②山口泰弘氏（三重大学特任教授）

「美術史から見た津八幡宮所蔵三十六歌仙扁額」

15：15～15：25

～ 休憩 ～

15：25～15：55

③羽田聡氏（京都国立博物館 列品管理室長兼美術室長）

「書跡史から見た津八幡宮所蔵 三十六歌仙扁額」

15：55～16：00

～ 会場設営 ～

16：00～16：30

④パネルディスカッション

「津八幡宮所蔵 三十六歌仙扁額の魅力にせまる」

総合司会：桐田貴史

パネリスト：青山泰樹氏・羽田聡氏・山口泰弘氏

16：35：閉会挨拶

16：40：閉会

申込方法：石水博物館まで電話にて
(電話 059-227-5677)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、定員が少なくなっています。参加ご希望の方はお早目にお申込みください。

※当日はマスク着用など、感染拡大防止にご協力をお願いします。

※感染拡大状況によっては中止させていただく場合もございます。

以上